

植物と人々の博物館メールマガジン

第95号 2023年1月14日発行



国際雑穀年

あけましておめでとうございます。国際雑穀年の稔りが多いことを願います。元旦から絹さやエンドウの白花が咲きました。武蔵野公園や野川公園ではサザンカが満開で、ソシンロウバイやウメが香り始めました。時の流れはあまりに速すぎます。

インドのシタラム博士から年賀メールが来ました。首相が先頭に立って、農科大学、研究所、関連企業やNPOがインド中で国際雑穀年を祝う行事をするそうです。インドと日本の雑穀共同研究の成果が役に立っています。

素のままの美しい花々、物事、作品、言葉、その中に真情を見いだしては称賛し、日々の暮らしの中で共感し、結び、希望を求めて励まし合いたいです。ぜひ友の会会員になってくださり、一緒に植物をめぐる生物文化多様性、在来品種の保全のための調査研究や普及活動にご参加ください。

1. 植物と人々の博物館

友の会会員になって、一緒に博物館づくり活動をしてくださると嬉しいです。

○予定

- 1) 開館・作業予定日：ウィルス対策で、しばらく休館します。
- 2) 公共の場における再公開について、新たな可能性を探りながら、試案を検討しています。
- 3) 民族植物学ノオト第16号は3月末に発行します。第15号までのすべての記事pdfは植物と人々の博物館ホームページ（下記：ミュージアムグッズの項）で読めます。
<http://www.ppmusee.org/goods.html>

4) 電子書籍：

一部公開中の雑穀の民族植物学関係の書籍、自選集 III『日本雑穀のむら』は完結し、日本全国の調査記録および補論6として東アジアについてもまとめ公開しました。

www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html

続いて自選集 IV『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』の読み書きを再開して、順次公開します。序章から第2章までを加筆修正しました。自選集 VI『随筆集—生き物の文明への黙示録』に順次新作を追加しています。同時に、これらのまとめとして自選集 V “Essentials of Ethnobotany” の一部公開を進めます。

- 5) 公式HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>に含めて民族植物学関係HP：生き物の文明への黙示録も国会図書館インターネット資料収集保存事業 (ndl.go.jp) で毎年1回収録されます。 <http://www.milletimplic.net/>

6) 森とむらの図書室への寄贈など

「お米の勉強会会報」「クリンネス」「現代農業」「うかたま」「地域」「環境と文明」、

「つぶつぶ」、「女性のひろば」をいただきました。ありがとうございました。

7) 植物と人々の博物館基金 PPM Foundation

大口寄附ではなく、できるだけローテクで貯金箱に眠っている 1 円玉からする任意募金を以前から考えていました。植物と人々の博物館の維持のために会員になってくださるか、ご寄付あるいは整理作業のご協力を、よろしくお願いします。ご寄付を頂き、ありがとうございます。自然文化誌研究会に基金費目を設けました。費目指定でご寄付をいただけるとありがたいです。郵便振込口座は下記です。

講座名義：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

口座番号：00100-2-665768

今後、計画が進行するようなら、クラウド・ファンディングや助成・補助も考えていると思います。

8) 月刊「クリンネス」へのエッセイ隔月連載は今年も続けます。去年は花の香でしたので、本年は花の色を話題にします。季刊「つぶつぶ」への連載もします。

2. 自然文化誌研究会

冒険学校まふゆのキャンプ：12月24日（土）～26日（月）、山梨県小菅村、清水バンガロー。無事終了しました。

総会：2月18日 11:30～13:00 Zoom

3. 雑穀街道普及会：

この活動は、中川さんや編集子のような、出アフリカ古層 A 型の子孫、縄文人の末裔を自認するものは自然と共存して生業を継承し、過剰便利に抵抗して雑穀栽培を伝承してきました。縄文土器を博物館に展示することも大事ですが、先人が生きたまま継承してきた雑穀の種子を切らさないことにも関心を向けていただきたいと思います。かさねて、日本列島における縄文農耕の歴史、その伝統的知識体系の蓄積を絶やさないように、もう時が迫っているので、消滅させないように切にご助力をお願いします。

○報告

1) 雑穀街道協議会準備会づくり：

① FAO 世界農業遺産の申請団体となる雑穀街道協議会を創るために、準備活動を進めています。現況は下記のサイトにあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletstrasse/approval22811.pdf>

② 説明冊子第 3 版を発行しました。相模原市南区の勝坂遺跡を加え、改訂しました。雑穀街道地域は縄文時代中期の勝坂土器文化圏に重なります。印刷物を配布くださる方には必要部集を郵送します。第 3 版はなくなりました。新たな対応があれば、第 4 版を印刷しますので、加筆修正について、ご意見を頂けるとありがたいです。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletstrasse/ms22n3v.pdf>

2) 桂川・相模川流域協議会市民部会

12月17日に開催され、宮本さんと木俣が参加して、雑穀街道協議会準備会の賛同団

体になってくださるように、再度お願いしました。2023年1月の幹事会で、再度説明するように助言されましたが、代表幹事とご相談の上でこれは保留することにしました。

3) 上野原市長に、再度、具体的提案をし、会っていただけるように重ねて依頼しています。相模原市長には延期が続きましたが、近日中には会っていただけそうです。

4) 自給農耕ゼミ (佐野川) :

佐野川の宮本さんの畑で収穫したキビは山口さんの醸造所において発泡酒にする予定です。栽培・加工・調理法などを学びたい方はご連絡くださり、ご参加ください。時期に応じてお誘いします。簡単な栽培方法は次のサイトにも公開してあります。家庭菜園や雑穀に関するご質問にはメールくだされば、いつでもお答えします。

<http://www.milletimplic.net/weedlife/farmsklec8p.pdf>

5) NPO さいはら :

9月末に理事会で雑穀街道のことなど検討してくださいました。2023年1月に小菅村の植物と人々の博物館を見に来てくださるそうです。

6) 佐野川の宮本茶園で栽培したモロコシを脱穀、精白仕立てを、自給農耕ゼミなどにご参加くださった方に、お礼として100gほどですが差し上げます。ごはんに混炊すると、赤飯のようになりおいしいです。ご希望の方は遠慮なく、送付先ご住所を木俣までお知らせください。

7) 雑誌・新聞などの取材

「つぶつぶ」2023 新年号、「女性のひろば」、「農民」、「農業新聞」など。

8) 1月9日、千葉県いすみ市のエコバーシティ、ソイヤー海さんを訪問しました。エコヴィレッジについてお話を伺いました。彼らは小金井にも縁がありました。

○予定

1) 東京学芸大学創基 150 年記念の雑穀発泡酒クラフトのプロジェクトは依頼者の都合で中止になりました。この 2 年間、自給農耕ゼミと一緒に、佐野川の宮本さんの畑で収穫したキビとホップは山口さんの醸造所において発泡酒にする予定で準備を進めています。企画を変更して、国際雑穀年記念発泡酒として企画を継続したらどうかと考えますが、ご意見いただければありがたいです。

2) 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン FFPJ 第 21 回オンライン連続講座

日時：2023 年 1 月 20 日、19:30~21:00 定員：100 人 参加費：無料

話題提供：木俣美樹男、日本における麦・雑穀・豆類の栽培はなぜ衰退したのか

申込先：イベントサイトで、講義の概要や講師のプロフィールについてご確認ください、専用フォームから 1 月 18 日までにお申し込みください（下記の URL を開いて下にスクロールすると緑地に白抜き文字で「参加お申し込み」とあるのでクリックして必要事項をご記入ください）。 <https://www.ffpj.org/blog/20221220>

お申し込みをされた皆様には、講座前日までに参加用 ZoomURL をお送りします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。FFPJ 事務局 岡崎

3) トランジション・ジャパン 日時：2023年1月13日、お話し会非公開、参加者6名。
話題提供：木俣美樹男、心の物語：内面への道への問いかけ、補足；雑穀の歴史から見た心の移行。座談会で、じっくりと深める話し合いができました。

雑穀街道普及会は下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

<http://www.millettimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、50年間、定点参与観察、調査研究してきた『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。<http://www.millettimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpmilvil.html>

雑穀街道普及会の会員や賛同者になっていただければうれしいです。趣意書や会則など、さらに「街道美味」は雑穀製品、佐野川茶やクラフト・ビールを紹介していますので、下記のホームページをご覧ください。会費や寄附は任意で、個人の意思を尊重し、あえて納入規定は設けていません。趣旨の賛同していただき、会員になっていただくようお願いしています。

遠くアフリカ、インドなどから極東にまで伝播してきて、縄文後晩期以降数千年、この島嶼に住む人々の命の糧であった数種の雑穀、日本における伝統的な雑穀栽培はいよいよ絶滅しそうな状況にあります。生きた文化財、雑穀や野菜の在来品種は種継をしなければ、死んでしまい、もう生き返らせません。生物文化の伝統的知識も継承されません。全国各地の伝統的雑穀栽培を継承する最後の篤農が90歳を超えようとしています。雑穀農耕文化複合は日本の山村が世界に誇る生きた文化財として、今を限りに絶滅させないように継承すべきです。雑穀街道をFAO世界農業遺産に登録申請する提案普及を続けます。広い心をもって、個人も地域社会も全国へ、さらに世界の起源の地にまで街道を繋げて行ってほしいです。2023年は国際雑穀年になります。どうぞご助力いただけますようお願いいたします。

4. 環境学習市民連合大学 Civic United University for Environmental Studies

セミナーの動画や予習・復習資料 pdfなどは下記のサイトにあります。

<http://www.millettimplic.net/university/civicuues.html>

多くの世代が信頼の下に、ともに話し合い、深く考えて環境問題の解決を広く探りたいです。人々との間に信頼を築きたいです。セミナー座談会への参加希望やご質問などは下記にメールください。現在、小金井環境市民会議の都合で、環境楽習会は休止していますが、自給農耕ゼミは引き続き開催しています。

内容についての連絡先：kibi20kijin@yahoo.co.jp 木俣美樹男（企画室事務担当）

第8回自給農耕ゼミ（小金井）

日時：2023年2月5日（日）14：00～16：00

場所：小金井市中町カエルハウスおよびオンライン（zoom）（定員：会場15名、オンライン20名）

話題提供：富澤太郎さん、上野原市西原の農家

仮題：雑穀街道、西原の暮らし

申込み連絡先： 042-316-1511（カエルハウス運営委員会）または
office@katayamakaoru.net 資料代 300 円

環境学習市民連合大学は環境学習の理論と実践を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作っています。環境学習・保全 NP04 団体と 3 個人から出発した市民大学です。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学をリンク・ページとして、インターネット上で運営することです。ヨーロッパの 12 世紀ルネサンスの先駆けとなった原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。都市を旅しながら教師も学生も互いに学びの自由を守護し合い、共助していました。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。どなたでも、学び合いたい人々が自由に集まるのです。

今この時、人新世の変曲点で、人生における学ぶ意味について改めて考え直し、再びルネサンス生き物の文明を日本から起こしたいです。この市民大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加（リンクなど）を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。最近の録画、話題資料メモは上記 CUUES サイトにあります。

[Civic United University for Environmental Studies 環境学習市民連合大学 \(milletimplic.net\)](http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html) <http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

5. 雑穀研究会では、2023 年の国際雑穀年（International Year of Millets）を記念し、国際シンポジウムを開催した。会場参加約 80 名ほか ZOOM 参加名もあり、雑穀街道普及会冊子を配布しました。

主催：雑穀研究会 後援：日本雑穀協会、日本熱帯農業学会

国際雑穀年(International Year of Millets) 記念シンポジウム 雑穀の新たな潮流

2023 年 1 月 7 日、日本大学生物資源科学部 4 階大講堂

記念講演；雑穀新時代の幕開け；雑穀研究会会長、日本雑穀協会会長 倉内伸幸

招待講演；台湾で雑穀が大流行！ 屏東科技大学 助理教授 林 資哲

シンポジウム；雑穀研究最近の進歩

アワの遺伝学 県立広島大学 教授 福永健二

キヌアの作物学 日本大学 教授 磯部勝孝

雑穀の考古学 奈良文化財研究所 室長 庄田慎矢

総合討論；次世代に伝える雑穀ストーリー

座長：大阪学院大学教授 竹井恵美子

パネリスト：屏東科技大学助理教授 林 資哲、県立広島大学教授 福永健二、

雑穀クリエイター 梶川愛、雑穀街道普及会事務幹事 木俣美樹男

閉会挨拶 日本熱帯農業学会会長 東京農業大学教授 志和地弘信

6. 国際雑穀年記念・つぶつぶ雑穀パワーフェス

オンライン・イベント・全3回（ZOOM ウェビナー使用・定員 500 名）90分＋シェアーリング30分（参加費：無料）

申込ページはこちら→<https://zakkokunen.hp.peraichi.com/>

（目的）雑穀・つぶつぶの魅力（おいしさ×栄養価＝パワー）と重要性（保存性：飢饉対応・危機対応・生命文化遺産）を広く伝え、多くの方に興味を抱いていただき、この動きに賛同・協力・参加していただき、雑穀料理＝未来食つぶつぶ、や木俣 美樹男氏の提唱する「雑穀街道」をFAO世界農業遺産への登録申請を後押しする。

（詳細）オンライン・イベント・全3回（ZOOM ウェビナー使用・定員 500 名）90分＋シェアーリング30分（参加費：無料）

申込ページ：<https://zakkokunen.hp.peraichi.com/>

第一回 2023年1月21日（土）19:00～21:00

「雑穀は未来食で美味しい！」大谷ゆみこさんのお話と動画（雑穀料理動画：雑穀スープ）、つぶつぶ料理スライドショー、

つぶつぶオープンデいの紹介・伊藤信子（約40分）

栽培者の思い：岩崎信子（埼玉県小川町・畑へおいで！＋つぶつぶ料理）、富澤太郎（上野原市西原やまはた農園）（約20分）

音楽ライブ生中継（from南阿蘇）：Upepo Upopo（約10分）

参加者ブレイクアウト・ルーム：1、栽培/雑穀の育て方 2、食べる/雑穀の食べ方（約20分）

ナビゲーター：こばやしはつこ（未来食コミュニケーター）、大西和信（ワノサト・エコビレッジ・プロジェクト）

トークゲスト：大谷ゆみこ（未来食つぶつぶ創始者）

ブレイクアウト・ルーム・ファシリテーター（約20分）

◎雑穀の育て方：岩崎信子（埼玉県小川町・畑へおいで！＋つぶつぶ料理）、富澤太郎（上野原市西原やまはた農園）、宮本透

（藤野・佐野川・お茶・雑穀農家）

◎雑穀の食べ方：こばやしはつこ（未来食コミュニケーター）

第二回 2023年2月18日（土）19:00～21:00

「つぶつぶは歴史的・風土的なからもの」

日本における位置付け、日本の食を紐解いて、歴史的に見た今の食の問題。

そして未来食へ。そしてさらに世界発信へ！（約50分）

音楽ライブ生中継（from南阿蘇）：Upepo Upopo（約10分）

ナビゲーター：伊藤信子（一般社団法人ジャパニーズビーガンつぶつぶ代表理事）、中野岳春（NPO法人トランジション・ジャパン理事）

トークゲスト（二人でインタビュー形式で）

：木俣 美樹男（農学博士・東京学芸大学名誉教授）、伊藤信子（一般社団法人ジャパニーズビーガンつぶつぶ代表理事）

大谷ゆみこ（未来食・創始者ビデオ出演）ベジタリアン向け講座ビデオ（約20分）

質問タイム（約 10 分）

第三回 2023 年 3 月 18 日（土）19:00～21:00

「つぶつぶクッキングと自給農耕で自立する！」

1 反（300 坪）の雑穀畑と未来食で食と経済の自立ネットワークを育てよう。

大谷ゆみこ（未来食・創始者）つぶつぶ新嘗祭ビデオ。（約 20 分）

ナビゲーター：伊藤信子（一般社団法人ジャパニーズビーガンつぶつぶ代表理事）、大西和信（ワノサト・エコビレッジ・プロジェクト）

トークゲスト：岩崎信子（埼玉県小川町・畑へおいで！+つぶつぶ料理）、富澤太郎（上野原市西原やまはた農園）、宮本透（藤野・お茶農家）（約 40 分）

音楽ライブ生中継（from 南阿蘇）：Upepo Upopo（約 10 分）

インフォメーション：ミニ栽培体験会、ライフシード・キャンペーン、新刊出版案内。Q&A（約 20 分）

これを通じて、ライフシード・キャンペーン（4/1～5/31）の全国で栽培&つぶつぶ料理体験のコラボや小川町オープンデイにつなげる。（全国 6 会場）青森・岩手・新潟・山形・長野、埼玉県小川町

また各会を通じて、「国際雑穀年」であること。それに向けて雑穀街道を FAO 世界農業遺産に登録申請する事の応援をアピールする。

主催：ワノサト・エコビレッジ・プロジェクト

共催：一般社団法人ジャパニーズビーガンつぶつぶ

協力：NPO 法人トランジション・ジャパン、雑穀街道普及会、(株)フウ未来生活研究所、トランジションタウン小金井、NPO 法人自然文化誌研究会、植物と人々の博物館、農と食女性協会。

問合せ：つぶつぶ雑穀パワーフェス事務局 info@tubu-tubu.net TEL 03-3203-2090

~~~~~

**植物と人々の博物館**（山梨県小菅村）：館長：木下善晴、顧問研究員；安孫子昭二

研究員：木俣美樹男（東京、専任、担当運営委員）、西村俊（石川、担当理事）、井村礼恵（東京、担当運営委員）、川上香（長野）、渡辺隆一（長野）、Sofia M. Penabaz-Wiley（千葉）、伊能まゆ（ベトナム）ほか

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

**雑穀街道普及会** <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務担当幹事 メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

栽培担当幹事：宮本透

民族植物学関係 HP:生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

**エコミュージアム日本村／ミュージアム研究会／トランジション小菅**（山梨県小菅村）：

代表 亀井雄次（山梨小菅村）

**自然文化誌研究会**：代表 中込卓男（東京）、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

<http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

環境学習市民連合大学 <http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

企画室事務担当：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

~~~~~

写真

雑穀街道ロゴの刺繍、月の周りに惑星集合



いすみエコバーシティ、キョンの食害を防ぐ

